

科目ナンバー： 研究・CNS：MC6043

授業コード： 6630600400

講義科目名称： がん看護学特別演習 I

英文科目名称： Seminar of Cancer Nursing I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 がん看護CNS必修
担当教員			
◎石田和子、岡村典子、横川史穂子、石岡幸恵、杉山潤、樋口伸子、浅野暁俊、角田みすゞ			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	岡村 典子	同上	216	norio@niigata-cn.ac.jp
横川 史穂子	同上	204	yokokawa@niigata-cn.ac.jp	
石岡 幸恵	同上	310	ishioka@niigata-cn.ac.jp	
杉山 潤	同上	共同研究室3	junsugi@niigata-cn.ac.jp	
樋口 伸子	新潟県立中央病院	がん看護専門看護師		
浅野 暁俊	同上			
角田みすゞ	ベル相談室			
【本学の科目区分】 専門分野				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】				
研究	◎	○	○	○
CNS	◎	○	○	○
助産				

到達目標	1. がんがもたらすあらゆる苦痛症状および苦悩の包括的な知識について説明できる。 2. エビデンスに基づき、キュアとケアを統合した看護実践について、その根拠と併せて具体的に説明できる。
授業概要	がんの進展・治療に伴う苦痛症状のアセスメントとマネジメント技術を、薬物療法、理学療法的介入、心理的な支援、リソースの活用などを含めた包括的な視点から展開するとともに、End of Life Care や家族の悲嘆に対する効果的な援助を探究するために、国内外の文献講読とその批判的吟味や事例の検討を通して学ぶ。また、心理社会的ケアの一環としてのグループ療法や相談支援技術について学修する。そして、エビデンスに基づいた患者のアセスメントと臨床判断・実践能力、およびがん看護専門看護師としての能力（実践・相談・調整・倫理調整・教育）を養う。これらを学生主体のプレゼンテーションとディスカッションを中心に進める。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：演習 学修課題：緩和ケアにおけるがん看護専門看護師の活動：緩和ケアにおけるCNSの活動と役割 学修内容：・実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究 事前学修：・学修課題に関する文献を探し、学修内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。 備考：石田</p> <p>2 授業内容 授業形態：演習 学修課題：トータルペインの症状マネジメント技術の探究 (1) 身体症状を呈する患者の支援（がん性疼痛・呼吸困難・倦怠感） 学修内容：・(1)～(3)の症状に対する効果的な援助技術に関する文献を用いた事例検討とディスカッション 事前学修：・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修：・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考：樋口 石田</p> <p>3 授業内容 授業形態：演習 学修課題：トータルペインの症状マネジメント技術の探究 (2) うつ・せん妄を呈する患者のアセスメントと支援 学修内容：・(1)～(3)の症状に対する効果的な援助技術に関する文献を用いた事例検討とディスカッション 事前学修：・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修：・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考：樋口 石田</p> <p>4 授業内容 授業形態：演習 学修課題：トータルペインの症状マネジメント技術の探究</p>

	<p>(3) スピリチュアル・ペインへの支援 学修内容：・(1)～(3)の症状に対する効果的な援助技術に関する文献を用いた事例検討とディスカッション 事前学修：・学修内容に関する既習科目（特になん看護学特論Ⅰの4・なん看護学特論Ⅱの6～9）を復習・活用し、実際に体験した事例の分析および検討を行う。 事後学修：・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 杉山 石田</p>
5	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： End of Life Care と家族のグリーフワーク 学修内容：・(1)～(3)の症状に対する効果的な援助技術に関する文献を用いた事例検討とディスカッション 事前学修：・学修内容に関する既習科目（特になん看護学特論Ⅰの8～9・なん看護学特論Ⅱの11～12）を復習・活用し、実際に体験した事例の分析および検討を行う。 事後学修：・ディスカッションおよび文献を活用し、支援方略を再検討する。 備考： 杉山 石田</p>
6	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： 手術療法に伴う機能・器質的变化に対するセルフケア 学修内容：・リンパ浮腫、ボディイメージの変容への支援 事前学修：・学修内容に関連する既習科目を復習する。 事後学修：・文献を活用して疑問の解決を図る。 備考： 石岡</p>
7	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： がん患者・家族への緩和ケア： 療養の場を移行する患者の意思決定支援と退院調整 学修内容：・がん看護相談の役割（コミュニケーションとカウンセリング技術） 事前学修：・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修：・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 横川</p>
8	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： がん患者・家族へのケア： 終末期がん家族の悲嘆に対するケアの探究 学修内容：・がん看護相談の役割（コミュニケーションとカウンセリング技術） 事前学修：・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修：・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 横川</p>
9	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： がん患者へのグループ療法（1） 学修内容：・グループ療法の理論と方法、ファシリテーターの役割 事前学修：・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修：・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 横川</p>
10	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： がん患者へのグループ療法（2） 学修内容：・グループ療法の理論と方法、ファシリテーターの役割 事前学修：・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修：・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 横川</p>
11	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： 症状緩和技術演習（1） 学修内容：・呼吸法、筋弛緩法、マッサージなど、緩和ケアに必要な技術の修得 事前学修：・これまでの活動を振り返り、症状緩和技術について整理して臨む 事後学修：・講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考： 角田 岡村</p>
12	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： 症状緩和技術演習（2） 学修内容：・呼吸法、筋弛緩法、マッサージなど、緩和ケアに必要な技術の修得 事前学修：・前回講義時に提示された学修課題に取り組む 事後学修：・講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考： 角田 岡村</p>
13-14	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： QOLを高める緩和ケア：がん看護専門看護師としての倫理問題の解決法 学修内容：・事例検討 事前学修：・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修：・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 石田</p>
15	<p>授業内容 授業形態： 演習 学修課題： QOLを高める緩和ケア：がん看護専門看護師としての症状マネジメント 学修内容：・事例検討 事前学修：・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修：・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。</p>

	<p>備考： 浅野</p> <p>16 授業内容 授業形態： 演習 学修課題： QOLを高める緩和ケア：がん看護専門看護師としての症状マネジメント 学修内容： ・事例検討 事前学修： ・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修： ・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 石田</p> <p>17 授業内容 授業形態： 演習 学修課題： QOLを高める緩和ケア：がん看護専門看護師としてのスピリチュアルケアへの介入 学修内容： ・事例検討 事前学修： ・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修： ・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 石田</p> <p>18 授業内容 授業形態： 演習 学修課題： QOL を高める緩和ケア：がん看護専門看護師としての意思決定支援（療養の場など） 学修内容： ・事例検討 事前学修： ・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修： ・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 石田</p> <p>19-20 授業内容 授業形態： 演習 学修課題： 緩和ケアの課題と支援の探求 学修内容： ・1回から18回の学びをふまえた、緩和ケアにおける「がん看護専門看護師に求められる役割と課題」についてのディスカッション 事前学修： ・指定課題に関する事例検討を行う。 事後学修： ・ディスカッションに基づき、検討内容を修正する。 備考： 石田</p>
事前・事後学習	授業計画参照
評価方法、評価基準	到達目標に対して、レポート 50%、プレゼンテーション 30%、課題分析能力 20%により総合的に評価する。
テキスト	最新の文献を使用するため、現時点では指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	必要時提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	事例検討等、提示された課題に基づき事前に資料を作成し、人数分の資料をコピーして配布する。
教員からのメッセージ	文献を用いて疑問の解決に取り組むなど、主体的な自己学修を期待する。
オフィスアワー	石田、横川、杉山が窓口となり対応する。事前にメールで連絡する。